

UV INKJET PRINTER

JF-1631

JF-1610

日常のお手入れマニュアル

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

目次

安全にお使いいただくために	2
使用環境とお手入れについて	2
お手入れ上のご注意	2
テーブル、外装のお手入れ	2
画質不良が解消されない場合は	3
作図不良の例	3
ステーション内部の洗浄	4
ノズル吐出不良の回復方法	5
フラッシング BOX のクリーニング	6
フラッシング BOX をクリーニングする	6
作図中のインク滴のポタ落ちを防ぐ	7
ヘッドガードプレートのクリーニング	7
廃インクタンクのインクが溜まったら	9
廃インクを処分する	9
白インク (ホワイト) の定期メンテナンス	10
保管方法について	12
不凍液・メンテナンス用洗浄液の保管	12
メディアの保管	12
インクカートリッジの保管	12

安全にお使いいただくために

使用環境とお手入れについて

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 紫外線硬化インク（UV インク）を使用するので、換気のよい場所に設置してご使用ください。
- 使用環境温度は +15℃～ +30℃です。これより低温／高温でのご使用は避けてください。

お手入れ上のご注意



- 本装置は、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。



- 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。



- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- UV ランプの温度が完全に下がってから、お手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。



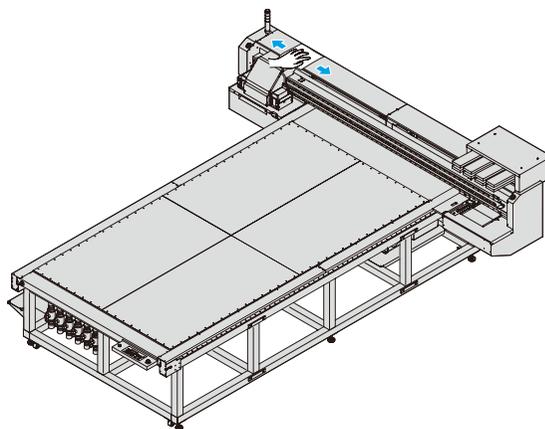
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタ内部が故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生いたします。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺やキャップ、吸引ノズルなどへは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。



- 本装置は紫外線硬化インク（UV インク）を使用するプリンタです。お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着して行ってください。

テーブル、外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、軽くしぼってから拭き取ってください。テーブル上のホコリも清掃してください。



画質不良が解消されない場合は

次のような場合、洗浄キットを使って吸引ノズルとキャップのクリーニングをしてください。

- ステーション内部の汚れがひどい場合
- ヘッドのクリーニング機能 (☞ 取扱説明書 P.2-9) を実行しても画質不良が解消されない場合

洗浄キットの内容	•メンテナンス用洗浄液 (SPC-0385)		
	•手袋	•清掃棒 (SPC-0384)	•ゴーグル



- 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

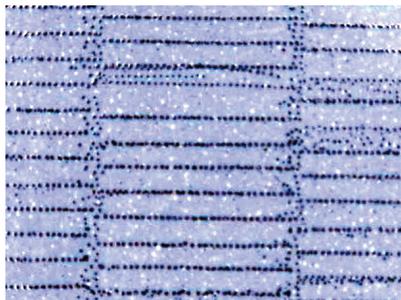


- クリーニングするとき、アルコール、水等は使用しないでください。
- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しい吸引ノズルと交換する必要があります。販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 専用の清掃棒をお求めの場合は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

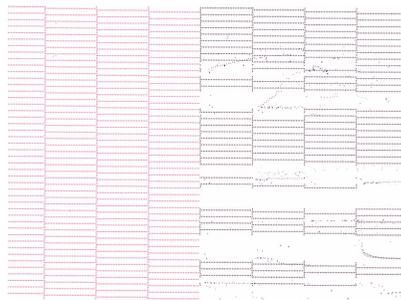
作図不良の例

ホコリなどを原因として発生する、ヘッドの吐出不良が作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態でご使用にならないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認されることをお勧めします。ノズルの状態は、本装置の「テスト作図」で確認することができます。(☞ 取扱説明書 P.2-8)

飛行曲がり



ノズル抜け



ボタ落ち



しびき



ステーション内部の洗浄

1

ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION
UVランプ ショウトウ <ENT>

2

▲ **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

3

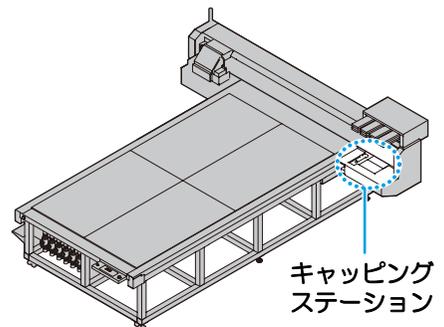
▲ **▼** を押して、[ステーションメンテ] を選ぶ

メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

4

ENTER キーを 2 回押す

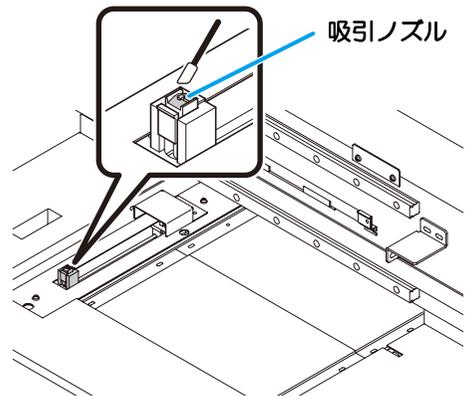
- キャリッジが移動します。



5

専用の清掃棒で吸引ノズルの
よごれを取り除く

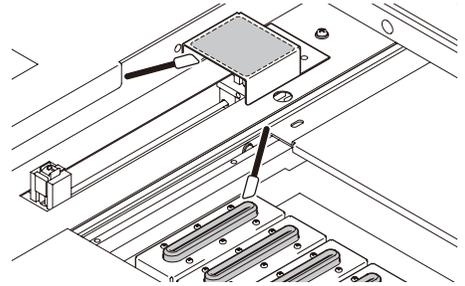
- (1) 専用の清掃棒にメンテナンス用洗浄液を含ませる
- (2) 吸引ノズルの汚れをていねいに取り除く



6

その他の部分の汚れを取り除く

- キャップのゴムや、吸引ノズルカバーの内側に付着したインク等を専用の清掃棒で拭き取ります。



7

[ENTER] キーを押す

- 初期動作を実行します。
- [END] キーを 2 回押すとローカルモードに戻ります。

ステーション メンテ
シュウリョウ : ent

シバ ラク オマチクダ サイ

ステーション メンテ
メンテ: キャリッジ アウト

ノズル吐出不良の回復方法

本装置を長時間ご使用にならなかった場合や、環境温度によってはノズルの吐出が安定しなくなることがあります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。



- これらの方法を行ってもノズル吐出が回復しない場合には、弊社サービスまたはお買い上げの代理店にご連絡いただき、ヘッド交換等の処置が必要になります。

1

日常のお手入れを行う

- 本文に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2

ヘッドのクリーニングをする (🔧 取扱説明書 P.2-9)

- 前述のお手入れを行った後、取扱説明書の手順にしたがってクリーニングを実行してください。
- クリーニングとテスト作図を繰り返し、ノズル抜けが無くなる事を確認します。



- これまでの操作でノズル抜けが回復しない場合には、弊社または本装置をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

フラッシング BOX のクリーニング

フラッシング BOX 内の廃インク吸収材を交換します。

クリーニングに必要なもの	•メンテナンス用洗浄液 (SPC-0385)		
	•手袋	•紙タオル	•ゴーグル



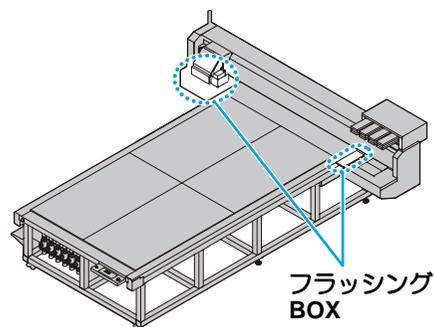
- 交換をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

フラッシング BOX をクリーニングする

1

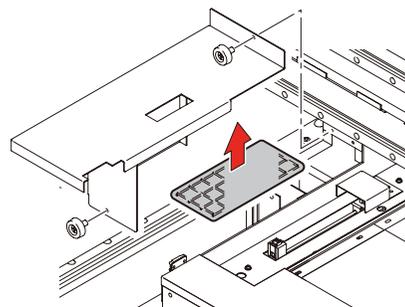
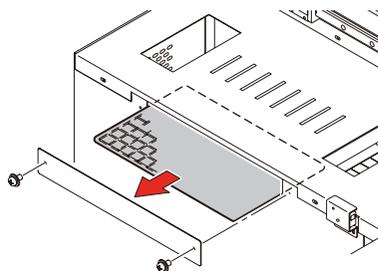
フラッシング BOX を開ける

- フラッシング BOX は本体の本装置の左右にあります。



2

フラッシング BOX 内部の吸収材を交換する



作図中のインク滴のボタ落ちを防ぐ

ヘッドガードプレートのクリーニング

キャリッジ下面のヘッドガードプレートには、作図によるインク滴が発生することがあります。インク滴のボタ落ちによりメディアが汚れたり、作図不良の原因となりますので、定期的にキャリッジ下面をクリーニングしてください。

クリーニングに必要なもの	•メンテナンス用洗浄液 (SPC-0385)		
	•清掃棒 (SPC-0384)	•手袋	•メガネ

1

ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION
UVランプ ショウトウ <ENT>

2

▲ **▼** を押して [メンテナ
ンス] を選ぶ

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

3

ENTER キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

4

ENTER キーを押す

ステーション メンテ
メンテ : キャリッジ アウト

5

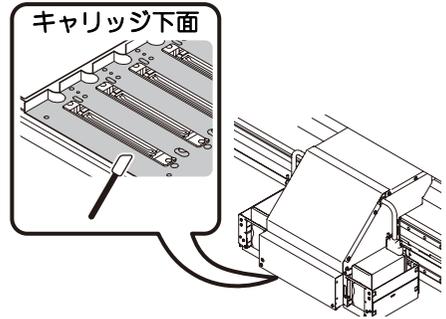
ENTER キーを押す

- キャリッジが自動的に移動します。
- 移動が完了すると、手動でキャリッジの移動ができるようになります。

6

手でキャリッジを移動させながら、ヘッドガードプレートのクリーニングをする

- メンテナンス洗浄液を含んだ清掃棒でキャリッジ下面をクリーニングします。
- 清掃棒の背部分を使って、キャリッジ下面をクリーニングします。
- ヘッド、ノズルには絶対に触らないでください。破損する原因になります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



7

クリーニング終了後、**ENTER** キーを押す

- 初期動作を実行します。
- **END** キーを2回押すとローカルモードに戻ります。

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。



- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



- ヘッドクリーニング中などのインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクタンクを取り扱うときは、タンクの口をティッシュで押さえるなどして、廃インクが飛ばないようにご注意ください。

- 廃インクがタンクに一杯になると、右のエラーを表示します。

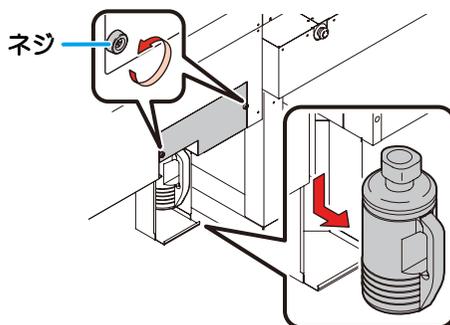
ERROR 604
!ハイインクタンク FULL

廃インクを処分する

1

廃インクボックスカバーを開ける

- カバーの両脇をとめているネジを外してから開けてください。



2

廃インクタンクを下げながら、手前に引き出す

3

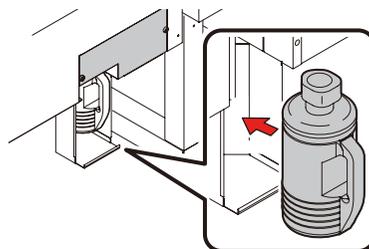
廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

- 下に紙を敷いてから廃インクを移してください。(インクで床を汚さないように)
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

4

空にした廃インクタンクをセットする

- 廃インクボックスカバーを締めます。
- 空の廃インクタンクを入れる場合、ケースの角で指などのけががないように注意して入れてください。



白インク（ホワイト）の定期メンテナンス

白インク（ホワイト）は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。

- 本装置を 2 週間以上使用しない場合、プリンタ内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。
- インクが沈殿すると、作図時にノズル詰まりを発生し、正常な作図ができなくなります。
- 作図時のノズル詰まりの防止と白インクの状態を良好に保つため、下記の定期的メンテナンスを行ってください。



- 一週間に一度必ず、下の操作をしてください。
- インクカートリッジは、弊社推奨のインクカートリッジをご使用ください。

1

ローカルモードで、
FUNCTION キーを押す

FUNCTION
UVランプ ショウトウ <ENT>

2

▲ **▼** を押して [メンテナ
ンス] を選ぶ

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

3

ENTER キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

4

▲ **▼** を押して [ホワイト
メンテナンス] を選ぶ

メンテナンス
ホワイト メンテナンス <ent>

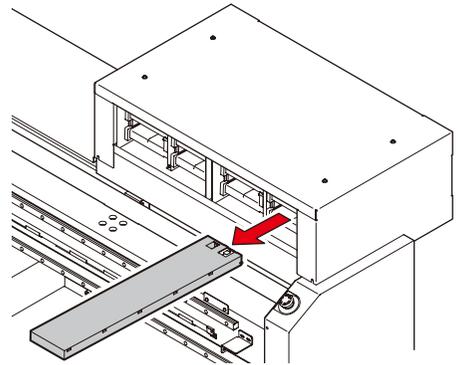
5

ENTER キーを 2 回押す

ホワイト メンテナンス
カートリッジ ヲ ハズ ス

6

白インクカートリッジをイン
クステーションから抜く



7

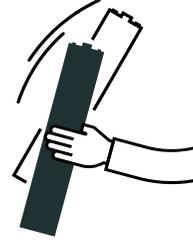
ENTER キーを押す

- 白インクの排出作業を行います。

** ハイシュツチュウ **
シバ ラク オマチクダ サイ

8

白インクカートリッジを 10 回程度ゆっくりと上下に振る

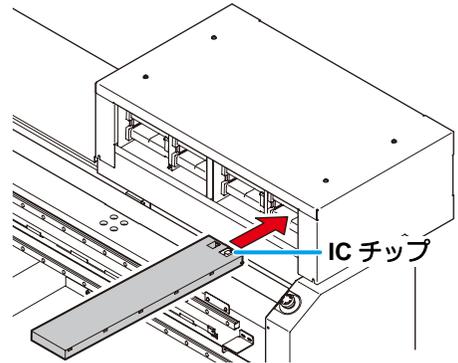


9

次の画面が表示されたら、白インクカートリッジをインクステーションに戻す

- 図のように、IC チップがあるほうを上にしてセットします。

ホワイトメンテナンス
カートリッジ ラ セット



10

ENTER キーを押す

- インク充填を開始します。
- 白インク充填終了後に、右記表示になります。

** ジ ユテンチュウ **
シバ ラク オマチクダ サイ

メンテナンス
ホワイト メンテナンス <ent>

11

終了するとき、**END** キーを 2 回押す

保管方法について

不凍液・メンテナンス用洗淨液の保管

不凍液、メンテナンス用洗淨液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。

メディアの保管

メディアは、ほこりがつきにくく直射日光が当たらない場所に保管することをお勧めします。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

インクカートリッジの保管

直射日光があたりず、湿度の高くない場所に保管してください。

精細な製品ですから、落下させたりぶつかけたりしないでください。

インクカートリッジに装着されている基板（右写真）は、汚したり、静電気放電させたりしないでください。



MEMO

MEMO

